



# 緊急時対応マニュアル

てだこチャイルド・デベロップメント・センター  
2023/11/1



OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY



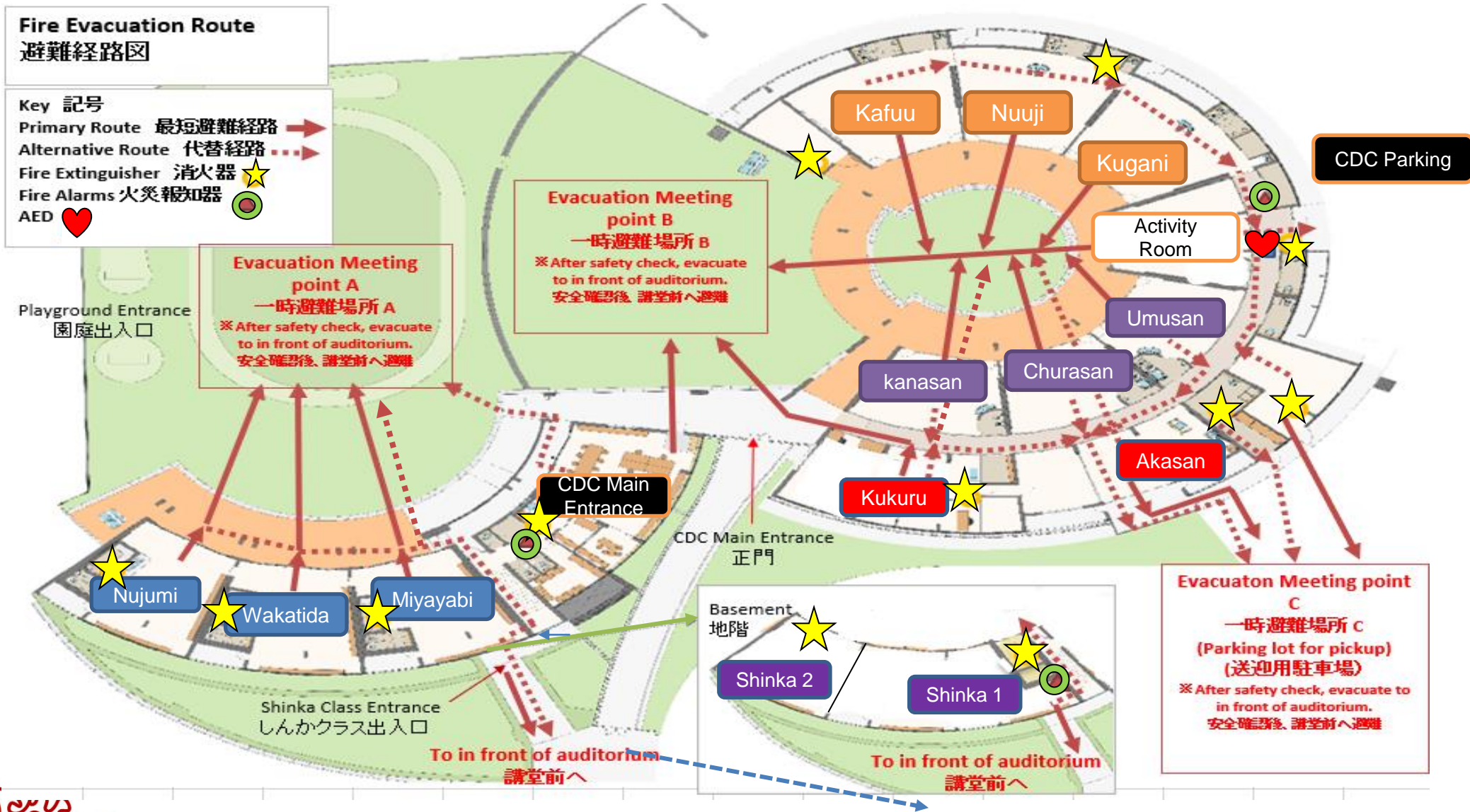
# CDC緊急時対応マニュアル

## 目次

1. [CDC避難経路図および消火器、火災報知器、AEDの設置場所](#)
2. [火災発生時避難マニュアル\(クラスルームスタッフ用\)](#)
3. [地震発生時避難マニュアル\(クラスルームスタッフ用\)](#)
4. [火災発生時対応マニュアル\(オフィススタッフ用\)](#)
5. [地震発生時対応マニュアル\(オフィススタッフ用\)](#)
6. [不審者対応マニュアル](#)
7. [化学物質漏洩への対応](#)
8. [ゲリラ豪雨・台風接近時の対応\(水害対応\)](#)
9. [停電発生時の対応について](#)
10. [園児の行方不明や誘拐された場合の対応](#)
11. [保護者以外への園児の引渡しについて](#)



# CDC避難経路図および消火器、火災報知器、AEDの設置場所



# 緊急時避難手順（クラスルームスタッフ用）

- 火災を発見したら、まず周りの人に大声で知らせる
- 火災報知機を作動させ、可能な場合は消火器を使って消火を試みる
- CDCオフィスに火災の状況を知らせる（各クラスのトランシーバーを使用、または098-982-3338/ #23338）

## 火災発生時の対応と避難

園児を集合させ、出席簿（タブレット）、iPhone、避難用バッグ、緊急連絡先バインダーを持つ

園児の出席人数と実際の人数の一致を確認し、（園児の靴を持って）一時避難場所へ避難する

退室時に園児の取り残しがないか確認する

ドアや窓を閉め、室内灯を消す

一時避難場所にて園児数を確認し、靴を履かせる。避難指示者のもと、必要に応じて最終避難場所である講堂入り口へ避難する

## 地震発生時の対応と避難

園児をテーブルなどの下へ潜らせる。（屋外の場合はその場で頭を保護する）

揺れが一旦収まったら、園児を集合させ、出席簿（タブレット）、iPhone、避難用バッグ、緊急連絡先バインダーを持ち、避難の指示を待つ

園児の出席人数と実際の人数の一致を確認し、園児に屋内で靴を履かせ、防災頭巾をかぶらせて集合場所へ避難する。（屋外にいる場合は安全な場合にだけ教室に防災頭巾を取りに行ってもよい）

退室時に園児の取り残しがないか確認する

火災が同時に発生している場合にのみドアや窓を閉め、室内灯を消す

集合場所にて園児数を確認し、靴を履かせる。避難指示者のもと、必要に応じて最終避難場所である講堂入り口へ避難する

集合場所で保護者や緊急連絡先に連絡を行う。  
お迎えは緊急連絡先に記載されている人によってのみ行われる。

# 火災発生時の対応と避難 (CDCオフィススタッフ用)

- 火災を発見したら、まず周りの人に大声で知らせる
- 火災報知機を作動させ、可能な場合は消火器を使って消火を試みる
- CDCオフィスに火災の状況を知らせる (098-982-3338/ #23338)

## 自衛消防組織の任務

(実際に火災が起きた際に、その場で役割分担を決める)

初期消火班 (訓練を受けているスタッフ 1名以上):

安全が確保できる場合にのみ、近くの消火器を使用して初期消火を試みる。

通報・非難誘導班 (3名以上):

1名は、全体の状況を把握し、CDCトランシーバーを使用して全体へ周知、避難指示を出す。

1名は、消防署への通報を行う。

1名は、緊急時用トランシーバーを用いて、守衛ボックスへの消防車誘導の依頼(「緊急です。CDCにて火災が発生しました。119番通報しました、消防車が到着したらCDC駐車場/講堂前まで誘導ください」)。誘導先で待機、消防車が到着したら消防署員に火災現場状況の報告をする。

他にも、サポートに入れるスタッフがいる場合には、それぞれにCDC1、2、しんかクラスの避難サポートを指示する。

最寄りの緊急避難口に立ち、避難誘導する。安全が確保できる場合には、教室内に園児の取り残しがないかダブルチェックする。

避難場所で、点呼・人数確認を行い、行方がわからない園児がいる場合には、直ちにチームリーダー/園長(またはその代理)へ報告する。

## 火災の知らせが入った際の防火・防災担当者 (またはオフィススタッフ)の対応

防火・防災担当者: Naomi Nakazato (Infant Team Leader) / Koki Yuko and Junko Shimabukuro (CDC admin)

1. 可能な範囲で情報収集し、必要に応じて初期消火班を派遣する
2. 避難経路を決め、全体に指示を出す。オフィススタッフ3名を通報・避難誘導者に指名し、119番通報、緊急時用トランシーバーを用いて、守衛ボックスへの消防車誘導の依頼(「緊急です。CDCにて火災が発生しました。119番通報しました、消防車が到着したらCDC駐車場/講堂前まで誘導ください」)を指示する。火災や避難の状況を把握し、CDCトランシーバーを使用して全体へ周知する。
3. 必要に応じてCDC1、2、しんかクラスのサポートに入り、避難誘導を行う。安全が確保できる場合には、教室内、トイレ等確認し、取り残しがないことをチェックする。
4. 避難場所で、点呼・人数確認を行い、行方がわからない園児がいる場合には、直ちにチームリーダー/園長(またはその代理)へ報告する。

消火活動では自分の身の安全が第一、ということを忘れずに!

# 地震発生時の対応と避難 (CDCオフィススタッフ用)

地震により火災が発生した場合には、「火災発生時の対応と避難」の手順に従うこと。

## 自衛消防組織の任務

(実際に地震が起きた際に、その場で役割分担を決める)

非難誘導班 (3名以上):

避難誘導班の3名が、それぞれCDC1、CDC2、しんかクラスの避難誘導を担当する。

最寄りの緊急避難口に立ち、避難誘導する。安全が確保できる場合には、教室内に園児の取り残しがなくダブルチェックする。

避難場所で、点呼・人数確認を行い、行方がわからない園児がいる場合には、直ちにチームリーダー/園長(またはその代理)へ報告する。

## 地震発生時の防火・防災担当者 (またはオフィススタッフ)の対応

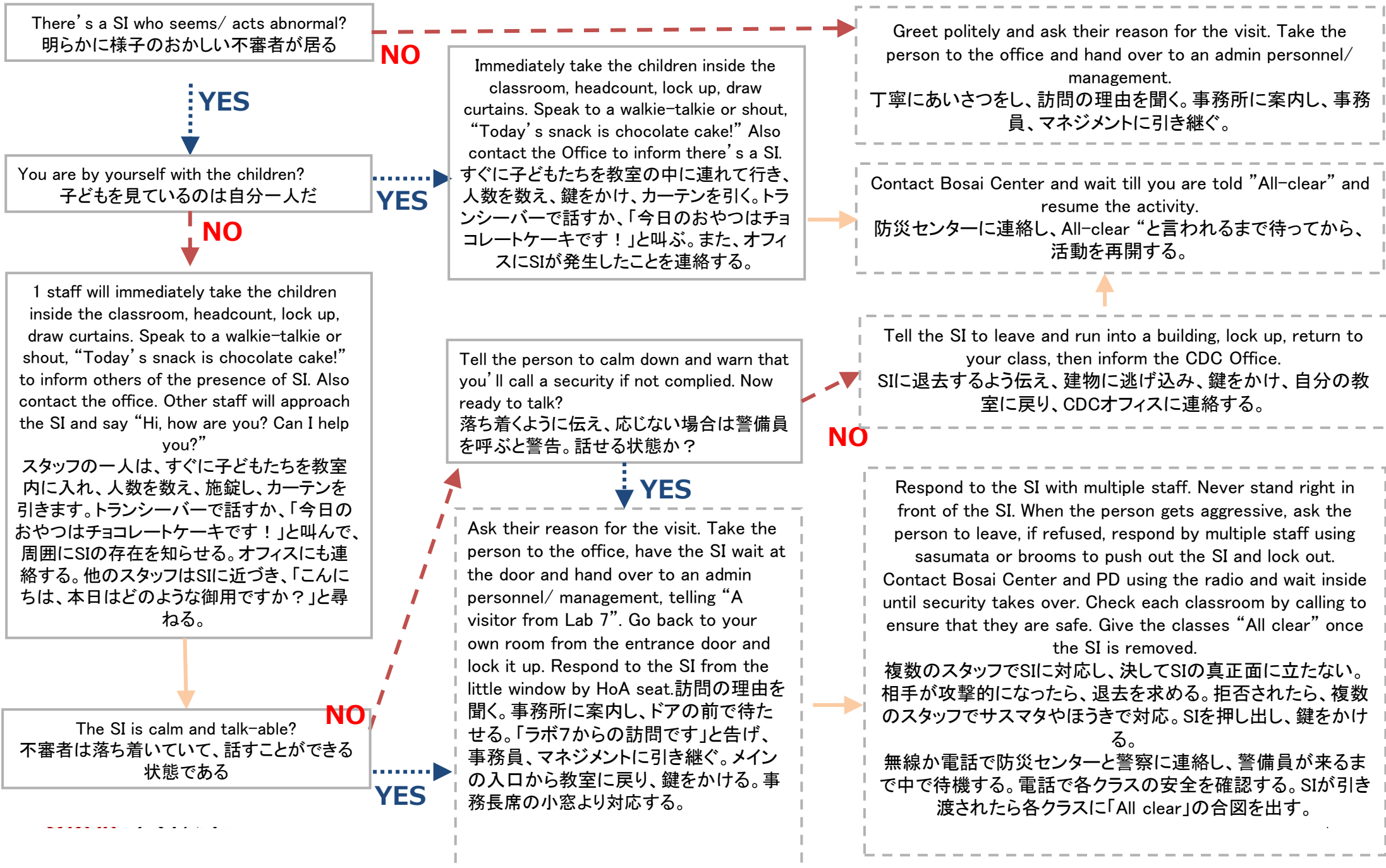
防火・防災担当者：Naomi Nakazato (Infant Team Leader) / Koki Yuko and Junko Shimabukuro (CDC admin)

1. 机やテーブルの下に潜り、揺れが収まるのを待つ。
2. 避難経路を決め、全体に指示を出す。オフィススタッフ3名を避難誘導者に指名し、避難誘導する。(CDC 1、2、しんか)避難誘導班が3名確保できない場合には、しんかクラスの避難を監督する。
3. トランシーバーを持ち出し、また、安全が確保できる場合にはオフィス電話の転送設定を行う。
4. 避難場所で、点呼・人数確認を行い、行方がわからない園児がいる場合には、直ちにチームリーダー/園長(またはその代理)へ報告する。緊急トランシーバーを使用して、防災センターへ避難状況を報告する。

消火活動では自分の身の安全が第一、ということを忘れずに！



# 不審者対応のフローチャート





## 不審者対応における注意点

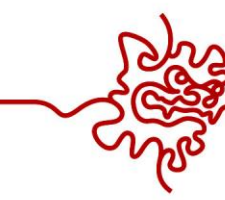
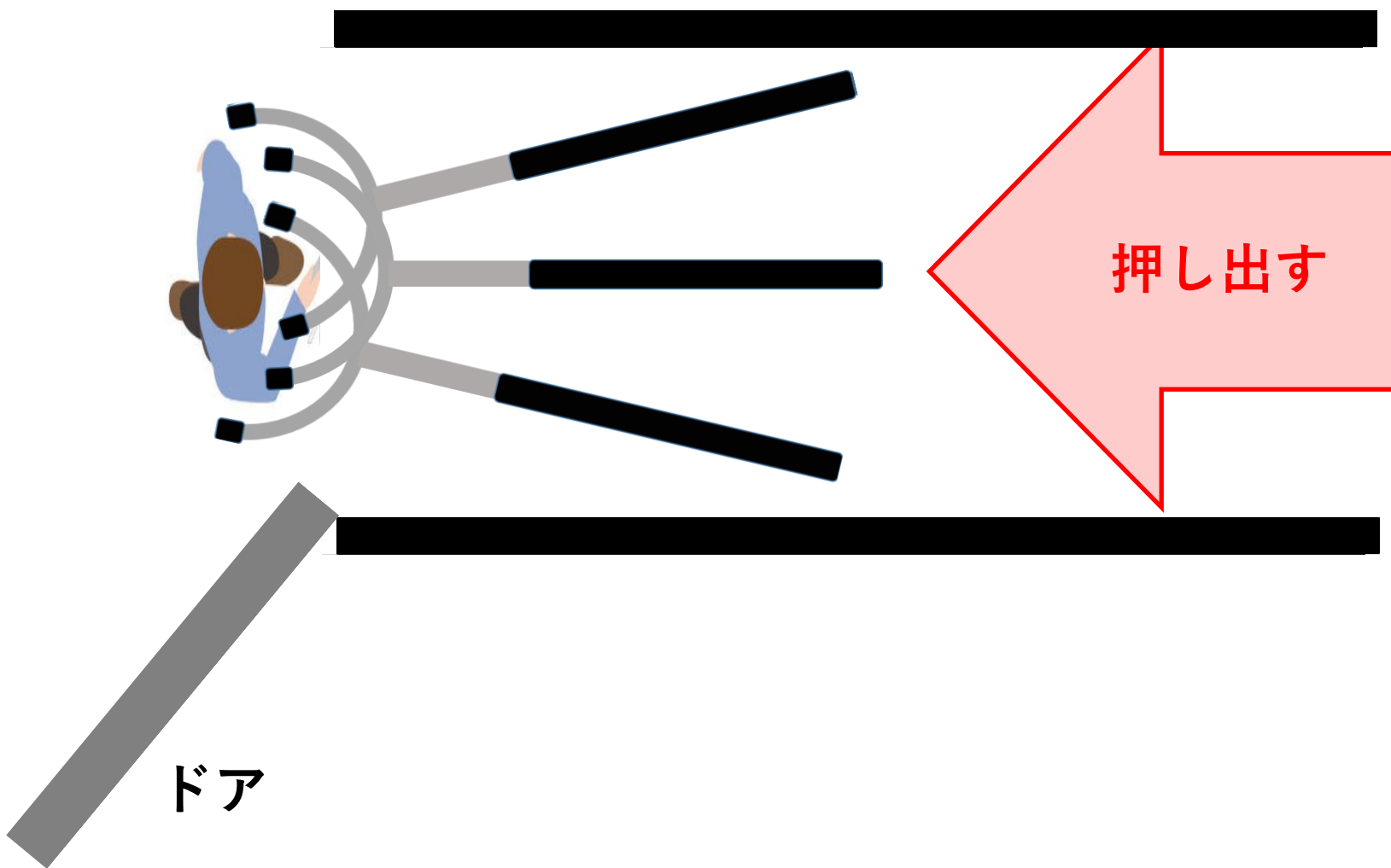
- 大声を出したり、押したり、掴んだりする人がいたら、不審者と判断し、CDCオフィスや防災センターに連絡する。
- トランシーバーを使用し、他のスタッフに不審者の存在を知らせる。セーフワード「**今日のおやつはチョコレートケーキです！**」と声をかける。
- 見知らぬ人を見かけたら声をかけ、CDCオフィスでチェックインをするように誘導する。もし不審者をオフィスに誘導する際は会話を続けながらオフィスへ案内し、時間を稼ぐ。(不審者と一緒にゆっくり歩きながら、「今日のおやつはチョコレートケーキです！」とセーフワードを使い、他のクラススタッフにも知らせる。)
- 不審者の正面に立たず、複数のスタッフで対応する。
- クラスのドアをすべて施錠し、最後に屋外に残った場合は正面玄関まで走る。
- (入口まで追いかけてきて、中に入ろうとした場合) サスマタ・ほうきで押し出して、締め出す。
- \*9:30~16:00の間、教室にいるときは、安全対策として教室のドアを施錠する。







# 推奨されているサスマタの使用方法



# 化学物質の漏洩があった場合

CDC施設界隈で化学物質の漏洩があったという連絡を受けた場合、またはスタッフが屋外にいるときに異臭を感じた場合：

- **全ての園児とスタッフ**はクラスに戻る。
- 全てのドアと窓を直ちに閉める。
- **園長**は状況を確認し、情報が入り次第、スタッフと提供する。
- その後の対応は、施設管理部門からの指示により決定する。





# CDC内で化学物質漏洩が発生した場合

## 室内での化学物質漏洩への対応（化学物質混合による有毒ガスの発生等）

- すぐに園長またはCDCオフィスにトランシーバー等を使用して漏洩状況を報告し、クラスから園児を避難させる。
- 出席簿（タブレット）、iPhone、避難用バッグ、緊急連絡先バインダーを持ち出す。
- 屋外出口に最も近いスタッフが、その出口から集合場所まで子どもたちを誘導する。各クラスは、グループとしてまとまって行動する。
- 最後に教室を出るスタッフは、園児の取り残しの確認とすべての電気を消し、すべてのドアを閉める。
- 指定された場所に集合したら、スタッフはクラスの園児の人数確認を行う。避難指示者（防火・防災担当者または園長）は全園児が避難したことを確認する責任がある。
- 避難指示者の判断に従い、避難を行う。



# ゲリラ豪雨や台風接近時の対応(水害対応)

- **ゲリラ豪雨時**

台風ほどの洪水被害はないが、場所によっては土砂災害の心配がある。ハザードマップによると、CDC周辺には土砂崩れの恐れはないが、急な天候の変化を感じたら、できるだけ早く園児を教室に避難させ保育する。ゲリラ豪雨時には、保護者はアクティビティルームからCDC駐車場に続く裏口から出入りすることができる（裏口には安全確保のため、職員を配置する）。

- **台風発生時**

台風が発生した場合、CDCでは台風警報が発令される前に、メール、Class Dojo、電話などで保護者に連絡し、暴風の状況に応じて早急にお迎えをお願いすることとする。連絡がつかない場合は、緊急連絡先に連絡する。

台風の接近が予想される場合は、窓枠やドア枠に新聞紙を貼るなど浸水防止対策を行い、パソコン、スピーカー、iPhoneなどの電子機器は濡れない場所に保管する（移動できない場合は大きなビニール袋をかける）。また、停電に備えてクラスごとに懐中電灯を用意し、園児に危険な場所には近づかないよう呼びかける。

[台風対策チェックリスト](#)



# 停電発生時の対応

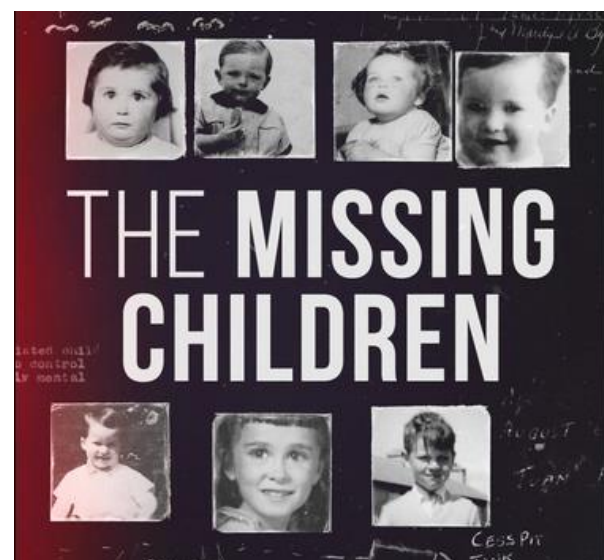
スタッフと園児はクラスに残り、可能であれば通常通りの活動を行うか、電力が再開されるまで園庭に行くことができる。

- 電力が一定時間内に復旧しない場合、CDCは閉園となり保護者に連絡する。
- クラスルームスタッフが責任を持って保護者に連絡し、閉園を伝え、直ちにお迎えに来てもらうよう依頼する。
- 保護者が到着するまでの間、可能な限り通常通りの保育活動を行う。



## 園児の行方不明や誘拐された場合

- 園児の行方が分からなくなった場合、クラスルームスタッフの一人が付近を探索し、別のスタッフは園長に連絡後、探索を行う。
- 一定時間内に園児が見つからない場合、園長は防災センター、警察、園児の保護者に連絡します。
- 園児が誘拐された場合、クラスルームスタッフは直ちに園長、警察、保護者に連絡しなければならない。




# 保護者以外への園児の引渡しについて

緊急連絡先フォームは、特定に個人に対して、園児お迎えの許可を与えるものである。緊急連絡先フォームの写しは、緊急連絡先バインダーに保管する。

もし園児のお迎えに来た人が見知らぬ人であった場合、クラスルームスタッフがCDCオフィスに連れて行く。オフィスでの確認後、オフィススタッフ等がクラスまでエスコートする。

保護者が緊急連絡先フォームにおいて許可した個人以外には、園児を引き渡すことができない。

セクレタリー、リサーチユニットアドミニストレーター、同僚や家族であっても、フォームに記載のない場合には園児の引き渡しは行わない。

 OIST OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY  
沖縄科学技術大学院大学

**緊急連絡先  
Emergency Contact Information**

お子様の名前 Child's Name: \_\_\_\_\_  
自宅の電話番号 Home Phone: \_\_\_\_\_

**OIST 父母/ 保護者氏名 Parent/ Guardian Name:**  
\_\_\_\_\_ Section/ Unit: \_\_\_\_\_

職場の内線番号 Work Extension:	職場の携帯電話番号 Work Cell:
携帯電話 Cell phone:	その他電話番号 Other Phone:

**父母/ 保護者氏名 Parent/ Guardian Name:**  
\_\_\_\_\_

職場の内線番号 Work phone:	職場の携帯電話番号 Work Cell:
携帯電話 Cell phone:	その他電話番号 Other Phone:

**代理/緊急時の送迎代行者 Alternative Pick-Up Authorization**

氏名 Name	関係/関係 Relation	電話番号 Phone

\*保護者の認証が得られていない場合、先生へ事前通知されていない場合は、生徒の降園は許諾されません Students will not be permitted to leave with unauthorized people unless prior notice is given to teacher or parent confirmation is received.



# 保護者以外への園児の引渡しについて

18歳未満の園児の兄弟姉妹のお迎えは禁止。

許可されていない人物が園児を無理に引き取ろうとした場合は、直ちに防災センター、園長と園児の保護者に知らせる。防災センターの内線番号は18861。電話番号は098-966-8861。

保護者が泥酔している場合には、園長またはアドミン、チームリーダーまたはクラスルームスタッフが、他のお迎え許可がある人に連絡を取りながら、酔った保護者と別のお迎えの方法について話し合う。

一日の終わりには、クラスルームスタッフは出席簿をチェックし、すべての園児がサインアウトしたことを確認する必要がある。



## 緊急連絡先 Emergency Contact Information

お子様の名前 Child's Name: \_\_\_\_\_  
自宅の電話番号 Home Phone: \_\_\_\_\_

OIST 父母/ 保護者氏名 Parent/ Guardian Name: \_\_\_\_\_  
Section/ Unit: \_\_\_\_\_

職場の内線番号 Work Extension:	職場の携帯電話番号 Work Cell:
携帯電話 Cell phone:	その他電話番号 Other Phone:

父母/ 保護者氏名 Parent/ Guardian Name: \_\_\_\_\_

職場の内線番号 Work phone:	職場の携帯電話番号 Work Cell:
携帯電話 Cell phone:	その他電話番号 Other Phone:

## 代理/緊急時の送迎代行者 Alternative Pick-Up Authorization

氏名 Name	関係/関係 Relation	電話番号 Phone

\*保護者の認証が得られていない場合、先生へ事前通知されていない場合は、生徒の降園は許諾されません Students will not be permitted to leave with unauthorized people unless prior notice is given to teacher or parent confirmation is received.

